

## <はじめに>

これは、自分自身の記憶のもとに報告するものである。この程度の報告でとやかく言われたら、大変こまるし、それはとても閉鎖的な印象になりかねないと思う。このような考えのもと、個人の責任において、ここに記す。

## <これまでの経緯>

日本ユネスコ協会連盟（以下、日ユ協連）は「どうも財政はたいへん」（参考：[第25回評議員会報告](#)）ということが判明した。そこで、赤字を削減するため、理事会は「事業改善3カ年計画」を立案。日ユ協連は、評議員会（参考：[第26回評議員会報告](#)）、ブロック代表者会議（各地域の会長さんらから意見聴取）などで意見を集め、次年度計画に反映していると思われ、前回の質疑応答（参考：[第28回評議員会報告](#)）で2013年度収支予算書に注目していたわけだが…

### 日ユ協連の第29回 評議員会（2013年1月19日開催）報告

日ユ協連の第29回 評議員会（2013年1月19日開催）に関東ブロック選出青年評議員として出席した。なお、今回は質問しなかった。

## <今回の主な内容>

- ・ **松田会長挨拶** 省略
- ・ **新設構成団体加盟式**  
新宮ユネスコ協会、松坂ユネスコ協会、鎌ヶ谷ユネスコ協会（当日不在）、環境維新隊東京ユネスコクラブが加盟証書を受け取った
- ・ **日ユ協連の事業報告（2012年9～12月）**  
時間の関係で寺尾事務局次長による超ハイスピード説明が行われた
- ・ **民間ユネスコ運動の今後の発展に向けて**  
加藤副会長が理事会動向を説明
- ・ **世界寺子屋運動はいま**  
鹿児島ユ協、富山ユ協の事例
- ・ **ユネスコスクールはいま**  
千葉県連、北海道連の事例
- ・ **文科省国際統括官の話**  
「パリのユネスコも改革中です。ユネスコスクール拡大しよう」的な話
- ・ **その他** 省略

## <みんなに知って欲しいこと&個人的感想>

※評議員会について書いてありますが、あくまでも個人的解釈、印象・感想です。

- ・今回の評議員会では、青年評議員が2名という状況だった。やはり、仲間がたくさんいた方が安心するので、積極的に出席されたい。
- ・「新設構成団体加盟式」の中に、環境維新隊東京ユネスコクラブがあった。手をつないでゲームしながら山手線沿線のゴミ拾うという斬新な企画があるらしい。期待。
- ・前回の全国大会の収支がプラスだったという報告があり、参加費等について、この部分では赤字、この部分では黒字という説明があった。「大変参考になった」という発言があったが、もし各年のデータが残っていないとは思いたくない。毎年やっているのだから、これはデータとして残し、次年度の主催団体に引き継ぐべきだ。
- ・「“震災支援のお礼に”とパリで浮世絵展をやった」という発表があり、色んな浮世絵を見せてもらった。日本文化って素敵です。
- ・次回の評議員会が5月のため、2013年収支予算書が出てくると思いきや、出てこないという展開で困惑。「おいおい、次年度事業計画見ずに新年度を迎えるのか」と疑問がわいたので、評議員会后、事務局次長に直撃すると「機関誌に載るでしょう」とのこと。次年度事業計画、収支予算書について、評議員は進言できないということか…。
- ・前々回で「進捗報告もないし、あとで結論だけ聞かされるのなら何のための意見聴取、評議員会なのだろう」と記したけど、今回は意見聴取どころか、発言する材料がないので何も意見を言っていない。いったい何をしに行ったのだろうか。中間報告や進捗報告を期待するも肩すかしにあうと、懸命に赤字問題に向き合ってきた僕として残念すぎて悔しい。評議員の存在意義が問われる回となった。
- ・今後の主な日程は、3月16日理事会、5月25日評議員会、6月22日定時総会&理事会×2回、9月14~15日日本ユネスコ運動全国大会 in 東京とのこと。  
5月25日の評議員会が僕の最後の評議員会となるのか。

文責：東京ユネスコみどりの会 手島 敬  
(関東ブロック選出青年評議員)